

さあ、いよいよバザーです！

万代 栄嗣



いよいよ今年のバザーまで、あと1週間となりました。これからの時間を有効に活用して、4月30日(月・休)の春季バザーが大いに祝福されたものとなりますように。今回も、松山福音センターの牧師・信徒一同、文字通り全員参加で、この教会の名物行事を実現できることを心から感謝します。

私たちの教会のバザーは、単なる思い付きで始めたイベントではありません。故・万代恒雄牧師によるゼロからの開拓以来、60年を超える伝道牧会の歴史を持っていますが、バザーはその歴史と深く関わり続け、開拓初期以来、ずっと継続されてきた価値あるものです。開拓当初から、聖霊に燃やされ、教会には多くの人々が集っていましたが、実際はまだまだ貧しい状況でした。放送伝道や海外宣教へのビジョンがあっても、実行に移す経済力はありません。そんな中、バザーで少しでも献金を生み出しては？という提案がなされ、全くの手探りながら、初期のバザーが開催されるようになったのです。

昭和30年代の終わり、流行り始めていたカレーライスを提供しようと、カレー粉を煎るところから作っていたのですが、出来上がったカレーを一晩置いたら火を通すという常識も、まだみんなの知識がなく、当日腐らせてしまい、捨て場所を探して大なべに入った腐ったカレーをリヤカーで引いて運ぶ途中、今度は道路にこぼしてしまい、田舎の肥溜めから運んできた汚物と間違われ…と、今では笑い話のような逸話が残っています。当時の教会の小さな台所では何もできないものですから、空のドラム缶を切って簡易のかまどを作り、煙突を立て、薪をくべ…、あの頃の教会全体の賑わいと盛り上がった雰囲気、懐かしく思い出されます。まだ幼児だった私もがんばりました。

さあ、2018年のバザーを本当に素敵なものへと、信仰を持って作り上げましょう。まず、みんなで徹底的に“奉仕”しましょう。主キリストに倣って、仕える姿勢で取り組みましょう。“交わり”を喜びましょう。普段ゆっくりとお話することのない兄弟姉妹たちとも、共に汗を流しながら、楽しい交わりの時も持ちましょう。また、親族や友人たち、ご近所の方々をお招きして“証し”しましょう。教会に溢れる喜びや楽しさをお伝えしましょう。そして、伝道のためにすべてを“献金”しましょう。今回も、このバザーの収益をそっくりそのまま、全額、福音宣教の働きのために献げたいと思います。さあ、喜び溢れるバザーに、あなたもご参加ください。あなたも必ず祝福されますよ！

rcommend

おすすめ情報

おすすめ



主はすべてをいやされる

■レイモンド・ムーイ著／万代栄嗣訳
ウィズダム出版(1500円)

怪しげなヒーリングに惑わされず、聖書から本物のいやしを学び、神によるいやしを体験してください。

プレゼント



関西ツアーライブ Spring 1994

■がんばるばんど
まんだいえいじ・いちかわユウジ・福岡勝也・森谷強
GEMImpact (1200円)

1994年ライブの復刻版CD。
あなたを愛して、たった一人の君に、
夕やけ、虹の約束ほか 全12曲。